

人口ピラミッドから見えるカンボジアの人口問題について

7月11日

21611085 大村 健太

21611085ko@tama.ac.jp

1、はじめに

本研究では、カンボジアにおいてポルポト政権時代に大虐殺が行われ、その影響が人口問題として現在も存在するカンボジアを対象とする。『Population Pyramid.net』を使い人口問題を他国と比較、そうすることにより視覚化することを目的とする。

2、方法

『Population Pyramid.net』を使いカンボジアの人口ピラミッドを視覚化した。どの年代に人が多いか、またどの性別が多いのかを確認した。さらに類似する国ベトナムと比較してみてもうなのかを確認した。

3、結果

2020年のカンボジア人口ピラミッドの40歳~44歳の人口割合が大幅に減少していた。これは約40年前にポルポト政権の粛清の名の下で行われた大虐殺が原因である。当時殺された人は、医者、先生といった賢い人たちであった。大虐殺が行われたため子供を出産することが少なくなり2020年における40歳~44歳の人口割合が減少した。

大虐殺により殺された人々の影響は医学や教育に大きな損害を与えた。その結果、現在の子供たちは医療や教育を受けられる人が減っている問題がある。

一方ベトナムでは、男の子の出生率が高く、将来結婚できる割合が減る可能性がある。そうすると高齢化問題への発展につながってしまう問題がある。

類似する国でも人口問題は異なっている。本研究での比較により人口を比較化で見えた。